



菊武学園フラッシュニュース

穏やかな春の空のもと、学位記授与式・卒業式・卒園式が行われ、7つの学校で1000名の卒業生・卒園児が巣立つ

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の令和6年度学位記授与式（名古屋産業大学第26回・名古屋経営短期大学第61回）が3月14日に本学体育館で挙行政され、学部生130名、短大生（未来キャリア学科・子ども学科・介護福祉学科）74名の卒業生204名が社会に巣立っていきました。

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の高木弘恵学長からは「予測困難な時代のなか、名古屋産業大学・短期大学で学んだ実践教育・愛情教育を胸に、それぞれの未来を切り拓いてほしい」というメッセージが贈られました。

午後には、卒業記念パーティーが名古屋マリオットアソシアホテルに会場を移して開催されました。パーティーではお楽しみ抽選会や、お世話になった先生方への花束贈呈などが行われ、終了後も友人同士や先生方と記念写真を撮るなど別れを惜しんでいました。



(学位記授与式)

菊華高等学校

2月28日、厳粛な雰囲気の中、令和6年度第61回卒業証書授与式が挙行政され、311名が巣立っていきました。

卒業生は普通科総合コース・フードクリエイティブコース設立1期生、ITビジネス科男女共学1期生と新しい取り組みが始まり、新風が吹いた学年でもありました。

多彩な外部講師の先生方を招いての授業や、校外での実習は実践教育を通し、生徒たちがより豊かな感性と幅広い視野を身につけたとおもいます。ITビジネス科では、男子が加わり、力強く活動的に学校生活を歩んでいる姿に多く出会えました。

高校生活の締め括りである卒業証書授与式では、理事長先生、校長先生の祝辞をまっすぐな眼差しで聞き入る姿は、立派な成人の姿そのものでした。また、卒業生代表の謝辞では、保護者、教職員、友人への感謝の気持ちがあふれ、参列者に大きな感動を与えました。卒業生一人ひとりが堂々と胸を張って歩く姿を見ていると、3年間の思い出がよみがえり感極まる時間でした。

最後に卒業生達のますますのご飛躍を願うとともに、このような素晴らしい場に立ち合わせていただけたことを心より感謝申し上げます。



(卒業証書授与式)



(卒業生代表謝辞)

菊武ビジネス専門学校

2月25日、岡谷鋼機名古屋公会堂にて令和6年度第76回高等課程卒業証書授与式を挙行政しました。天候に恵まれ、卒業生202名は、輝かしい未来への門出を迎えました。

この学年は、2年生で新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、行動制限を少しずつ緩和していった学年でしたが、困難を乗り越え、団結力を深めることができました。

3月3日には、本校にて令和6年度第65回専門課程卒業証書授与式を挙行政しました。卒業生18名は、この1年での凝縮された学びや経験がかけがえのない財産となったことでしょう。ひとまわり大人として成長した姿に感慨深い思いを抱きました。

鈴木悦子校長からは「人生の豊かさは喜怒哀楽の総量で決まる。マイナスの経験も絶対値として足し算することで人生の豊かさを総量を増やし、豊かな人生を送ってほしい」と想いを込めた式辞が送られました。



(高等課程・卒業証書授与式)



(専門課程・卒業記念写真)

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院

春らしい暖かさを感じられるようになった3月17日、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋に於いて令和6年度第30回卒業式が挙行政され、色とりどりの袴に身を包んだ161名の卒業生が巣立っていきました。

同じ場所で2年前、真新しいブラックスーツに身を包んだ皆さんを新入生として迎えたのがつい昨日のこのように思い出されます。模擬結婚式やショーにクラス一丸となって取り組み、スポーツ大会や文化祭を心から楽しみ、大変だった就職活動を乗り越え、2年間の在学中にたくさんの経験を積んで大きく成長してくれました。

そして少し遡ること2月27日～28日は、最後の研修旅行でディズニーリゾートへ行ってきました。ディズニーキャストの皆さんの素晴らしい接客術やサービス精神を学びつつ、クラスメイトとの最後の思い出づくりもできました。

4月からはそれぞれの道へ進むこととなりますが、いつでも先生たちは卒業生の皆さんの幸せと活躍を願っています。



(卒業証書を手に記念撮影)



(卒業までの最後の研修旅行)

菊武幼稚園

3月17日、令和6年度第56回卒園式が2階講堂で行われました。うぐいす組28名、つばめ組28名、合わせて56名の卒園児が修了証書を手に卒園しました。

壇上上がった園児達は、担任の先生から一人ずつ名前を呼ばれ、池本厚園長から修了証書を受け取った後、参列している保護者の皆さんに向かって、将来なりたい夢を発表していきました。はっきりした口調で堂々とマイクに向かってしゃべっている姿に成長を感じました。

その後、幼稚園からの記念品授与、在園児からのお祝いの言葉や卒園児からのお別れの言葉と粛々に行われました。

卒園式終了後は、園庭にて教職員と在園児による花のアーチをくぐり、PTA役員によるお別れ会が開催され、とても素敵な時間となりました。

卒園児が4月から、楽しい小学校生活が送れるように願っています。



(お別れのこぼ・卒園の歌)

稲葉保育園

3月28日、令和6年度卒園式が本園で行われ、卒園児15名が巣立っていきました。

保護者の方への“ありがとう”の気持ちをどうやって伝えようかとみんなで考え、昨年9月のふれあい会で行った「お茶のお点前」を披露して、保護者の方におもてなしをすることにしました。真剣な表情でお茶を点て、お茶を静々と運ぶ姿に目を潤ませる保護者の方もいらっしゃいました。

卒園式では、名前を呼ばれたら1人ずつ大きな声で返事をして、レッドカーペットの上を歩き、豊田久美子園長から卒園証書をいただいた後、保育園での楽しかった思い出を発表しました。堂々と自分の思いを話す姿に成長を感じました。

卒園児15名は、尾張旭市内6つの小学校に分かれて進学します。自信を持って、前を向いて歩いていってくれることを願っています。



(お茶のお点前をする卒園児)



(卒園式)